

校訓

誠心 自主 創造

学校教育目標

自ら想像し、考え、行動する生徒の育成

自ら想像する：自ら相手の気持ちや物事の意味を推し量ることができる。
自ら考える：自らの知識や経験に基づき、よりよい判断ができる。
自ら行動する：自ら目標のために実際に行動へと結びつけることができる。

人権感覚
主体性

目標達成のための重点

(1) 授業規律の定着と授業の改善

①授業規律の定着 ②共感的人間関係 ③自己選択・決定の場の設定 ④自己存在感 ⑤心理的安全性

(2) 組織的な体制の確立

①学年チーム体制 ②学級・学年を越えた生徒指導 ③各部会内・部会を超えた連携 ④学年プロジェクト

(3) 主体性を育む場の設定

①見通しをもたせる計画と実践 ②生徒会活動 ③ルールメイキング

(4) ICT活用の推進

①授業での活用 ②生徒の実態分析

(5) PBISによる生徒指導

①スマイルカード ②ポジティブメッセージ ③生徒と学校を結びつける価値と活動

めざす生徒像

- ①自分と他者を大切にでき、思いやりがある生徒
- ②確かな学力を身に付け、学びに喜びを見出す生徒
- ③心身の健康に留意し、逞しく生きる生徒
- ④目標や希望に向かい粘り強く努力する生徒
- ⑤時間を守り、整理整頓ができ、礼儀正しいあいさつができる生徒

めざす授業

- ①学びの風土の醸成（授業規律）
- ②記憶に残る割合を意識した授業（学びのピラミッド）
- ③内容が焦点化・視覚化・共有化された授業（ICTの活用）
- ④じっくり考える場のある授業（教師の待つ姿勢）
- ⑤人権感覚の3視点に立った授業（自己存在感、共感的関係、自己決定）
- ⑥基礎、基本の定着と振り返りを位置付けた授業

めざす教師像

- ①最高の授業を目指して、授業改善を常に行っていく教師
- ②生徒一人一人を大切にする教師
- ③組織的な学びの環境を大切にする教師（校内研修の推進）
- ④組織の一員として責任をもち、協力し行動する教師
- ⑤隠れたカリキュラムであることを意識し、実行する教師

教育的課題

- 授業規律
- 自主的な態度
- 人とのつながりの弱さ
- 自己肯定感の低さ
- SNSのルールや自転車交通法規の遵守

経営的課題

- 授業改善
- 組織の機能化
- 積極的なICT活用
- 隠れたカリキュラムの意識化
- 超勤の縮減、心身の健康